

⑤ シーラ・ペイン 著 福井正子 訳
『世界お守り・魔よけ文化図鑑：
民族に受け継がれる神秘的パワー』

(終風舎)

世界には様々なお守りがあります。十字架、動物の歯や爪、お札、綺麗な刺繍の施された布、ビーズ、ボタン・・・国や地域によって姿や形を変え、私たちの生活の中に浸透しています。『ハリー・ポッター』でお馴染みのフクロウは、西洋では知恵と幸福のシンボルとして親しまれていますし、日本でも、交通安全や合格祈願のお守りは身近な存在です。

科学的な根拠がないにもかかわらず、なぜ人はお守りを信じるのでしょうか。人々がどのようにお守りに関わってきたのか、そのパワーの秘密を美しい写真と共に紹介した一冊です。

387-Pai (Y.Y.)

⑦ 王永全、小玉新次郎、許昌福 編著
『日中同形異義語辞典』

(東方書店)

日本も中国も漢字文化圏の国であり、同じ漢字を使った表現が多いのは当然です。しかし、中には同じ漢字を使っていても靴が長靴しか指さないように意味がずれていたり、切手が文字通り手を切ること、出世が生まれることを意味したりして全く違うものを指す場合も少なくありません。

本書では、日本語と中国語で同じ使用法では意味が通らなかつたり、誤解を招く恐れのある約1,400の同形異義語が五十音順に収録されています。両言語での用例や意味が詳しく解説されており、言葉の使い方の違いがよくわかる図書だと思えます。

823-Nicc (N.I.)



⑥ 石井研士 著
『日本人の一年と一生：
変わりゆく日本人の心性』

(春秋社)

本書は、日本古来の年中行事と、人生を彩るさまざまな儀礼のあまり知られていない起源や由来などが、詳しく書かれています。そこに現在の現状を対比させながら、日本人の考え方がどのように変化してきたかを分析しています。お正月や七夕などの伝統行事と、クリスマスやバレンタインデーなどの新しい行事のどちらも受け入れてしまう現代日本人の精神が見えてきます。皆さんも、古き良き時代の日本を探ってみませんか。

386.1-Ish (N. K.)

⑧ ジュゼッペ・パトータ 著
岩倉具忠 監修 橋本勝雄 訳
『イタリア語の起源：歴史文法入門』

(京都大学学術出版会)

現代英語文法知識で14世紀イギリス文学は読めません、また現代フランス語文法で16世紀フランス文学は読めません。しかし、現代イタリア語文法でダンテを読むことは出来るのです。なぜ？、どうして可能なのでしょう？

全ての言語はその国の歴史と文化と共に発達してきました。ロマンス語系の言語はラテン語から派生したといわれていますが、イタリア語も同じように古典ラテン語から派生したのでしょうか。

本書は、そのイタリア語の歴史的形成を6章に分けて分かりやすく解説している日本初の歴史文法入門書です。

870.2- Pat (H.T.)